

# 中越地震の経験を活かし人工透析患者への支援

関係各位

NPO 米ニケーションセンター、NPO プロジェクト 88、(有)エコ・ライス新潟

新潟県備蓄 4000 食、長岡市備蓄 700 食

南阿蘇村、阿蘇市、益城町、熊本市、山都町、宇土市

30 ヶ所の被災した透析病院・団体に直接運び手渡し食事改善を支援

## 4月21日に再度熊本へ向け出発

アオーレ長岡市役所より、磯田副市長、危機管理防災課の皆様に見送られて、一路、熊本へ向けて出発。

長岡市から、「はんぶん米」700 食の提供に加え、「災害派遣等従事車両証明書」を発行されて、高速料金が無料となったのは本当に助かりました。

夕方長岡を出発したのは、今回は乗用車で 15 時間（前回トラックは 22 時間）と判断し、被災地の大渋滞を考慮して朝方に到着して、手配したレンタカーを借り、2 台ですぐに、行動するためでした。



アオーレ長岡から支援をスタート

## 熊本県腎臓病連絡協議会（熊腎協）と透析施設被害情報

新潟県からの支援物資 4000 食は大型トラックが手配され、熊腎協の事務局に前日に納品が届かず。物流は大混乱で、一度福岡でおろされ「緊急支援物資運搬」の指定を受けて軽トラック 2 台で運搬。一般車両は植木 IC までしか通れませんが、熊本 IC まで走り何とか 10 時に到着。予定より 2 時間遅れで乗用車 2 台に積み込み、残りを熊腎協に仮置きして一安心。

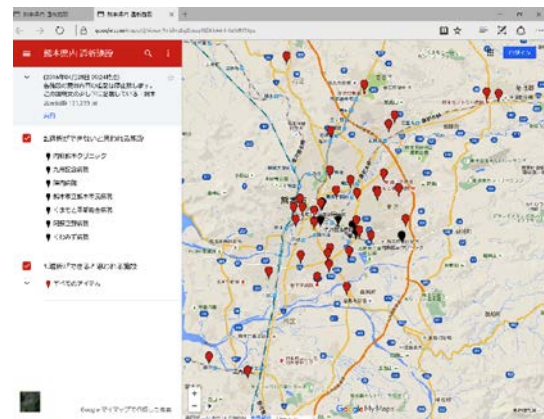
今井事務局長より、透析病院・患者の現状を伺い、どこの地区の透析病院へ運ばばいいかを協議。又、地震による地下水の汚濁が透析に必要な水を確保できないことや透析時間が短くなっていること、被災した病院の患者を大渋滞の中、病院職員が送迎していること等リアルタイムの情報を収集できました。初日に遠方で支援物資が届きにくく物流の弱い地区、阿蘇市、宇土市を中心に回り南阿蘇村。そこで宿泊（「モンベル義援隊」が協力）。翌日に益城町、熊本市のルートに決定。



熊本市の熊腎協の事務所



事務所も地震の揺れで物が散乱したという



透析病院の被災状況が一目でわかる情報

## 2手に分かれて被災して稼働している透析病院を回る

前回の食物アレルギー物資はトラックで運びましたが、機動性と燃費、トラックの車高の高さ等の問題から、今回は機動性を生かして乗用車2台にしました。トラックと違い乗せられる支援物資の「量」については、熊腎協の事務所をストックベースに使用できたので解決できました。



今井事務局長から、「宇土市、宇城市も透析施設の被害が大きい」「阿蘇では道が寸断されて熊本に抜けられないので大分の透析病院へ行っている」とのことなので、被害が甚大な地域を選びました。

被災地の交通状況は、前回に比べればかなり改善されましたが、通行できる道が限られているので大渋滞。かなりの時間をロスします。

医師、看護師に説明しポスターも渡す。南阿蘇村から高森を抜けて山都町へ抜けるルートには

巨大な落石が至る所で行く手を遮ります。メディアの情報発信は、益城町、南阿蘇村を中心ですが、その周辺の自治体の被災状況もひどく、結果、支援が届かないという悪循環に陥っています。

支援物資を送りっぱなしでは必要な食物アレルギーや人工透析の患者に届かない事を中越地震、東日本大震災の支援で学んでいます。

ですから、効率が悪いかもしれませんが、直接、必要としている人達に手渡しをしながら説明し無駄なく患者に届けます。



過疎地域のインフラは改善が遅い。

### 予想されていた避難所の支援物資の混乱

前回の支援では、「一家族おむすび一個」とう状態でした。しかし、そのような状態はすぐに解消されて、逆に支援物資が有り余る状態で混乱するとの予想が的中しました。災害発生から1日毎に被災者のニーズはかわり、道路などのインフラが回復をはじめれば途端に物資が余るのは毎度のことです。

しかし、要配慮者（食物アレルギー、人工透析、咀嚼困難者用流動食等）の特別食は話が別です。仮に避難所に届けられても一般支援品と混ざって行方不明になるのがおちです。今回も南阿蘇村で3日前までは食料がなかったのに、支援物資が溢れて体育館の床が抜け落ちる状況でした。

メディアの報道から被災地に支援物資が届くまでにタイムラグがあります。報道のあり方を改善しなければ災害復興の足を引っ張ることになります。



明日で賞味期限の切れるパンの山。配られることはなく処分。



不足していた粉ミルクの山。しかし、アレルギー対応粉ミルクも混ざっていた。



他県自治体からの応援者にアレルギー対応ミルクであるか否かを解説する高橋理事長。

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユウ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL 0258-66-0070 FAX 0258-66-0447

e-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)

